

## 取調べの開始前にあなたに知らされるべき権利とは？

### 1. 立会人なしで弁護士と相談（接見）する権利、および取り調べ中の法的援助に関する権利

#### A. 弁護士

- あなたの選んだ弁護士に連絡するよう求めることができます。
- 弁護士を選任していない場合、または選任した弁護士が来られない場合には、当番弁護士に連絡するよう求めることができます。
- 特定の法的状況に該当する場合は、完全に無料または一部無料でこの法的援助を受けることができます。法的援助制度の利用条件についてまとめた文書を請求することができます。

#### B. 事前の相談（接見）

- あなたには、次の取調べの開始前および当番弁護士への連絡から2時間以内に、立会人なしで弁護士と30分間相談（接見）する権利があります。この時間は、取調べ官の判断で例外的に延長できます。
- この相談（接見）は、電話または取調べの場所において行うことができます。

#### C. 取調べ中の法的援助

- あなたには、取調べ中に弁護士から援助を受ける権利があります。弁護士の立会いなしに、取調べを開始することはできません。
- 弁護士は次のことを保証します。
  - あなたの黙秘権および、自分の不利になることを話さない権利が尊重されること
  - 取調べ中にあなたが適切に取り扱われ、不当な圧力を受けないこと
  - あなたの権利があなたに適切に通知されること、および取調べが法律に従って行われること

この点について弁護士が何らかのコメントを行った場合、弁護士の求めにより、そのコメントは直ちに警察の供述調書に残されません。

弁護士は、特定の調査を行うよう求めたり、特定の人物に尋問するよう求めることができます。弁護士は、質問の内容に関する説明を求めることができます。弁護士があなたに代わって回答したり、取調べを妨害することはできません。

- あなたまたはあなたの弁護士には、一度に限り、追加で立会人なしの相談（接見）を行うために取調べを中断する権利があります。同様に、取調べ中に新しい事実関係または違法行為が明らかになった場合、弁護士と追加で立会人なしの相談（接見）を行うことができます。この追加の相談（接見）は最長15分です。

## D. 権利放棄

弁護士と相談すること、および弁護士の援助を求めることは義務ではありません。

次の条件を満たす場合、慎重に考慮した上で自発的にこの権利を放棄することができます。

- 成人であること
- 権利の放棄に関する有効な文書に日付入りで署名していること
- 可能であれば、取調べを撮影できます。これについては弁護士と相談できます。

これらの件については、電話で当番弁護士に相談することができます。

## E. 例外

例外的な状況またはやむを得ない理由のため、検察官または裁判官は、あなたが取調べ前に立会人なしで弁護士と相談（接見）すること、または取調べ中に弁護士から援助を受けることを禁止することができます。この場合、決定の正当な理由が示されなくてはなりません。

## 2. 違法行為の要約の伝達

- あなたには、取調べを受ける違法行為について説明を受ける権利があります。

## 3. 黙秘権

- どの時点においても、自分の不利になることを話す義務はありません。
- 氏名などの本人確認情報を述べた後、供述を行うか、質問に答えるか、または何も話さずに黙秘するかを選ぶことができます。

## 4. 逮捕されたことを他人に知らせる権利

あなたには、逮捕されたことを第三者に知らせる権利があります。

ただし、検察官または裁判官は、やむを得ない理由のため、取調べに必要な期間、この通知を行う時期を延期することができます。

## 5. 医療援助

- あなたには、必要に応じて、無料で医療援助を受ける権利があります。
- あなたは、あなたが選んだ医師による診察を求めることができます。この場合、診察費は自己負担となります。

## 6. 通訳人による支援と通訳の権利

- あなたが取調べの言語を理解しないか話さない場合、聴覚または言語障害がある場合、立会人なしの相談（接見）中：
  - 宣誓通訳人をつける権利があります（あなたの言語を理解しないか話さない場合）。
  - 取り調べ。  
この支援は無料です。
- 訴訟手続きの言語を理解できない場合、欧州逮捕状、召喚状、裁判所の決定書の関連箇所を理解できる言語に翻訳する権利があります。この翻訳は無料です。
- あなた自身があなたの使用言語で供述を記録するよう求められる場合もあります。

## 取調べ中のその他の権利

### 7. 取調べ中のその他の権利

取調べの冒頭では、多数の事項が伝達されます。事実関係についての簡潔な情報および黙秘権について説明された後、次のことが伝えられます。

- すべての質問および質問に対するあなたの回答を、あなたが使ったそのままの言葉で記録するよう求めることができます。
- 特定の調査を行うよう求めることができます。または特定の人物に尋問するよう求めることができます。
- 行った供述は法定での証拠に使用されません。
- 取調べ中は、それによって取調べの延期が必要とならない限り、あなたの所有するあらゆる文書を使用することができます。取調べ中または取調べ後に、これらの文書を供述調書に追加するか、裁判所書記局に提出するよう求めることができます。

### 8. 取調べの撮影

- 可能な場合、取調べの手続きを監視する目的で、取調べを撮影できます。
- これは、取調べ官、検察官、または裁判官によって決定されます。

### 9. 取調べの終了時

取調べの終了時に、提示された取調べの記録を読むことができます。また、読み上げてくれるよう求めることもできます。供述調書の内容に変更や補足がないかどうか確認を求められます。

## 拘留期間はどのくらいですか？

### 1. 原則として、48 時間

最長で 48 時間拘留される可能性があります。

### 2. 裁判官

- あなたは、48 時間以内に釈放または起訴されます。裁判官は、あなたを引き続き拘留するか、および逮捕状を発行するかを決定します。
- 裁判官は、最初に、このことについて取調べを行う義務を負っています。この取調べ中も、あなたには弁護士の支援を受ける権利があります。裁判官は、逮捕状発行についてあなたまたはあなたの弁護士の意見を聴取します。

成人の場合、弁護士の支援を受ける権利を放棄することができます。

- 裁判官が逮捕令状を発行した場合、あなたには次の権利があります。
  - 無制限に弁護士と話す権利があります。
  - あなたは、逮捕令状の発行後 5 日以内に裁判所での非公開聴取に出席します。そこで、逮捕および再拘留の事実に異議を申し立てることができます。
  - 予備審問での公聴の 1 日前に、あなたに関するファイルを閲覧することができます。
  - 訴訟が行われている言語が話せないか理解できない場合には、逮捕状の翻訳が口頭で提供されていない限りにおいて、逮捕状の関連部分の（書面による）翻訳を得る権利があります。この翻訳は無料です。
  - その後の手続きについて、弁護士から追加情報の提供を受けることができます。
  - ベルギーの市民権を持っていない場合、自国の領事館等に逮捕の事実を知らせることができます。

この権利についての説明は、自由に手元に置いておくことができます。